平成24年8月10日

各 位

上場会社名　株式会社 サンエー化研
代表者　代表取締役社長 藤岡　宣隆
（コード番号　4234）
問合せ先責任者　取締役経営企画部長 藤岡　貞章
（TEL　03-3241-5702）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成２４年５月１８日に公表した平成２５年３月期第２四半期累計期間の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,800	170	210	126	11.48
今回修正予想(B)	16,000	270	340	204	18.59
増減額(B-A)	△800	100	130	78	
増減率(%)	△4.8	58.8	61.9	61.9	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	16,614	221	261	138	12.62

平成25年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,300	200	120	10.94
今回修正予想(B)	14,400	340	204	18.59
増減額(B-A)	△900	140	84	
増減率(%)	△5.9	70.0	70.0	
（ご参考）前期第2四半期実績（平成24年3月期第2四半期）	15,119	202	115	10.50

修正の理由

当第１四半期の機能性材料の売上高は前年同期並みにとどまりましたが、全社的な原価低減活動の成果と比較的採算性の良いタッチパネル向け保護フィルムが好調であったことから、前年同期比で収益性が改善いたしました。一方、軽包装材料及び産業資材につきましては、前年同期比で減収減益となり、現在のわが国経済の状況を考えると当面この傾向が続くことが予想されますが、機能性材料の収益力の回復が全体の利益の押し上げに相当程度寄与するものと判断し、連結・個別とも第２四半期累計期間の業績予想を修正することといたしました。
通期の業績予想につきましては、景気の先行きが今なお不透明であることから据え置くことといたします。
なお、本日付の開示文書「旧札幌工場跡地の土壌及び地下水汚染に関するお知らせ」により、当該工場跡地に基準値を超える特定有害物質が確認された旨の公表を致しましたが、現時点で汚染の除去工事について合理的な工法が特定されておらず、浄化処理等に係る費用を正確に見積もることが困難であることから、上記業績予想の修正には本件に関する業績への影響を考慮しておりません。
今後の調査により処理方法及び処理費用が確定し、業績への影響が明らかになり次第、速やかにお知らせいたします。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上